

平成30年度

小・中学生フォーラム in 戸塚第二小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

6月19日（火）、戸塚第二小学校（高田馬場1-25-21、校長：篠塚幸次）の6年生38名が、「故郷 高田馬場 ～ぼくらの未来はぼくらの手で～」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちは高田馬場の魅力や問題点、まちをより良くするための提案、50年後の高田馬場はどのような変化しているのかを、ニュース報道仕立ての映像やパワーポイント、劇を交えながら発表しました。また、保護者や地域の方を交えて、50年後の高田馬場の姿について意見交流を行いました。フォーラムの締めくくりとして、「50年後の高田馬場は、自分たちがどのように行動するかで変わっていく」とし、「ポイ捨てをしない」「食品ロスをなくす」「緑を大切にする」「困っている人がいたら声をかける」など今の自分たちが実践すべきことを宣言しました。区長からは、「劇やパワーポイントを用いた発表はとても良かった。自分が気づいたことだけで良いから、実行してほしい。続けていけば、良い未来になっていく。育ててくれた高田馬場のまちに恩返しをしてほしい」と児童たちの活動を応援する言葉が贈られました。

児童たちは、舞台の幕が開かないなどのトラブルに遭いながらも、先生や友達の力を借りて発表をやり遂げました。参加している人を楽しませるエンターテインメント性があり、児童たちの高田馬場への愛着も感じる有意義なフォーラムとなりました。

